

みてね展だより 第10号



2023年12月18日 発行

文責：アートでつなぐユニバーサルデザインの会

10月15日(日)より29日(日)まで15日間にわたり、第10回記念の「描いたよ！みてね展」が皆様のご支援により無事に終了できましたことを、紙面をお借りしてまずは御礼申し上げます。

紅葉にはまだまだの季節でしたが、期間中585名(大487、子98)の方にご来場いただく事ができました。

「10回記念のシール」は500枚準備し、476枚配布できました。

期間中実施した「くるくるレインボー」も150本準備し、120本提供できました。

10月21日(土)に行った「女声コーラス ルクル ミニコンサート」も70名以上の参加を頂き、美しい歌声の中、幸せなひと時を過ごすことができました。

みてね展を振り返り、みてね展だより10号で出展作品の紙上紹介です。一人(グループ)1点の画像です。

今回は「四角い作品、縦長の作品」に分けて「見学ルート順」に作品紹介させていただきます。

2023年 第10回みてね展出展作品の一部紹介



四季 横井保紀



「あつまれ！いのち」ことり



秋の栗拾い Granny 粕屋 わかば



新時代 Ace 学園



みんなちがってみんないい YUZUKA



アオ 楠本健一



夏色 山口敏司



ピンクの浮き輪 草野 愛



夕空 徳永時男



シャチホコ 平田 愛



夜のサンセットビーチ 藤 拓海



紫陽花とカエル 一宮裕美



ひまわり 北郷遼子



流れ星 吉田竹廣



スター 野田宗嗣



ちょこちょこパラダイス 城戸祐稀子



紫陽花 西村瑛紀



収穫 グループホーム Candy



ザックとシューズ 新谷繁治



ハガキ絵 風景 渡辺一征



響 中田詠子



絵の中のネコちゃん ユーキ



かわいい なかまたち 田村あんり



ポケモンの仲間たち 木村光里



わたしの作品 遠山ひまり



大好きなお友だち 久家もも子



夏の思い出 くらげ なかむた らいが



虹の滑り台 伊藤 茜



にじ ふくだゆあ



にじ しばたしんご



にじ やまぐちかれん



にじ よこやまゆの



にじ たぶちはな



飛行機の足跡 悠斗



フラワーダンス 優多



思い出の街 晴菜



マリンファンタジー 涼介



アートな世界 洸太



海の探検隊 暖翔



美朝海 福井芽依



空 綾香



ハッピータイム あゆみのもり須恵のみんな



第 10 回みてね展 裏話し 実行委員や行事協力者大募集中 !!

今回のみてね展準備に折紙の出展をしてくれた横井保紀氏が参加してくれました。横井氏は「影の MVP」だ。というのが実行委員たちの感想です。実行委員も高齢化し、準備がスムーズに進まない中、若い横井さんの参加が大変ありがたかったです！ 横井さんの加勢がなかったら間に合わなかったかも！



なないろあーと なないろくらぶ



トトロの森 Granny 粕屋 つぼみ



みんなのひまわり 三つ葉の里



誰一人とり残さない みんなの家ゆず



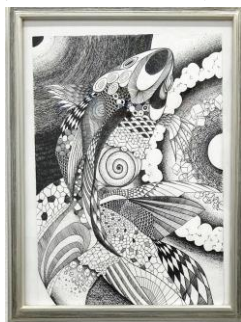
だいすきな おしいちゃん 荻北大夢



V6 TV ガイド 釘本春香



ぼたん 渡辺博子



金魚 一期



かぼちゃ Tokiko



最後の花火 KII



いつもの木 長谷川 樹



私の見た海 琴実



セラピー犬 大取崇汰



第10回 記念シール



剥がして使用

第10回みてね展 記念シール配布

記念シールは「オオカミ、ネコ、インコ」のシリーズでお馴染みの大淵孔遠氏が担当し、配色については、実行委員の投票により決定いたしました。

シールの「Close to you」は「あなたの傍にいるよ」という意味があります。みてね展の趣意にそって、オオカミ、ネコ、インコ全く違う生態の3匹が、垣根を越えて仲良くなる絵を考えました。(大淵孔遠)

第10回みてね展 ワークショップ「くるくるレインボー」作成

作品制作に30～40分程かかるにも関わらず、小さなお子様から、ご年配の方々にいたるまで、楽しんで作成していただきました。有難うございます。トータルで120本ほど作成していただいたこと、嬉しく思っています。クルクル回して心を癒して頂ければ幸いです。

第10回みてね展 「女声コーラス ルクル ミニコンサート」成功！

山の中にたたずむ久我記念館でのコンサートは、教会の中でのコンサートにも似た雰囲気です。稲永恵子先生の独唱も「かなりや」に始まり「山に行こう」までの9曲。たっぷりと堪能させていただきました。続いてのルクルの皆さんによる「赤とんぼ」から「愛されている」までの6曲も美しいハーモニーで会場全体を包んでくれました。印象に残るミニコンサートを有難うございました。

第10回みてね展 キャプション作成で展示会参加 高校生の浦部綾音さん

キャプション（作品・作者名）は作品展示に欠かせないアイテムです。今年のみてね展のキャプションは、高校三年生の浦部綾音さんが全部、手書きで書いてくれました。活動に参加したいという綾音さんは、絵よりも字を書くことが大好き。そこでキャプションづくりで活動に参加してくれました。実行委員会は、大歓迎。こんな参加方法があるなんて素敵ですね！ 綾音さん、ありがとう！

秋の実り

一期

作品の一つ

「みんなの個展」のあゆみ！（連載3回目）

商店街でのチャレンジの後、福岡市 NPO・ボランティア交流センターの広報誌の表紙を美術館に見立てた「あすみん美術館」という連載が始まりました。町のどこかで作品作りを楽しんでいる誰か、その様子を見守っている誰か、そんな情報を集めながら、作品と作者や関係の方に会って取材して写真を掲載するという活動です。2003年8月から、10年以上の継続の間に、たくさんの施設、個人の作者さんたちと知り合うことができました。

こうした紙媒体での「みんなの個展の仲間たち」の活動をずっと見守ってこられた方が、「須恵町にある森の美術館で、展覧会をしませんか？」と声をかけてくださいました。

誌面という「場」も素敵ですが、リアルな美術館も魅力があります。ついに2013年4月に皆さんの協力で、久我記念館で「みんなの個展」の展覧会が開催されました。煉瓦造りの瀟洒な森の美術館、こんな素敵な場所で展覧会ができたこと、受け入れて下さった地元の皆さんとの出会いがあって、それが今も続いていることを思うと、感慨無量です。

描いた人、創った人が、作品を見てほしい、みてね、みにきてね！という気持ちさえあれば、どなたでも参加できますよ、そんな気持ちをこめて、翌年の2014年からの展覧会の名称は「みんなの個展 描いたよ！みてね展」となりました。（つづく）

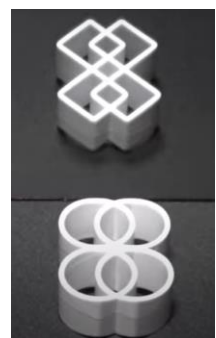
久我美術館受付の棚にある「変身立体交差する丸四角」ご覧になりましたか

随分前から展示されている「杉原マジック」。鏡に映った形が実物と違う！ 不思議な体験をなされましたか？ まだであれば是非、久我美術館で体験してください！

作者の杉原 厚吉氏は、日本の数理工学者。東京大学名誉教授。明治大学先端数理科学インスティテュート研究特別教授。世界で唯一の「立体視覚研究者」として知られている方です。

その方の作品の一つがひっそりと展示されています。気が付かない方も多いので、紙面をお借りしてご紹介いたします。

杉原氏の作品は「変身立体」「杉原マジック」「杉原厚吉」などで検索するとすぐに見つかります。ネット上だけでなく、実物を見る事をお勧め致します。



鏡の中

現物

皆様からの声を募集いたします！！

代表 大津 正勝 電話(090)1194-1357 メール Kitamen2043@yahoo.co.jp

事務局 山本 洋子 〒811-2115 粕屋郡須恵町佐谷 1314-38 電話 (090) 6423-3313

メール nowornever1202@gmail.com